

中小企業景況調査報告書

令和5年 7 ~ 9月期 実績
令和5年 10 ~ 12月期 見通し






鹿児島県商工会連合会

(令和5年10月発行)

この調査は、商工会地域の産業状況等地域の経済動向について、四半期毎に変化の実態等諸状況を迅速・的確に収集して、全国商工会連合会と連携し、全国一斉に実施しているものです。

























この報告書の中で、用いられているD・I指数とは、ディフュージョン・インデックスの略で、【増加・上昇・好転】の割合から【減少・低下・悪化】の割合を差し引いた値で企業経営者の景気動向を表す指数として利用されています。

〈お天気マークの説明〉

 特に好調 +30.0 以上	 好調 +29.9~ +10.0	 まあまあ +9.9~ ▲9.9	 不振 ▲10.0~ ▲29.9	 極めて不振 ▲30.0 以上
---	---	---	---	--

- 調査対象期間 令和5年7~9月期を対象とし、調査時点は令和5年9月1日とした。
令和5年10~12月期は予測値となる。
- 調査方法 商工会の経営指導員による訪問及び面接調査による。
- 調査対象商工会 かごしま市・南九州市・さつま町・鶴の町・始良市・湧水町・霧島市
志布志市・大崎町・垂水市・錦江町・西之表市・あまみ・徳之島町
- 回答企業 対象企業 206業
製造業：43企業 建設業：30企業 小売業：58企業 サービス業：75企業

県内産業別業況DI

	製造業	建設業	小売業	サービス業
4年 7月 ~ 9月期	 ▲34.1	 ▲6.7	 ▲33.9	 ▲23.4
4年 10月 ~ 12月期	 ▲11.4	 ▲3.3	 ▲23.7	 ▲14.3
5年 1月 ~ 3月期	 ▲7.0	 ▲16.7	 ▲25.9	 ▲24.7
5年 4月 ~ 6月期	 ▲2.3	 6.7	 ▲5.2	 3.9
5年 7月 ~ 9月期	 ▲9.3	 6.7	 ▲25.9	 ▲6.7
来期見通し(10~12月期)	 ▲4.6	 3.3	 ▲19.0	 ▲6.7

総合(業況)

前年同期(令和4年7月~9月期)と比較した今期(令和5年7月~9月期)の業況は、製造業▲9.3(前年同期比24.8ポイント改善)、建設業6.7(前年同期比13.4ポイント改善)、小売業▲25.9(前年同期比8.0ポイント改善)、サービス業▲6.7(前年同期比16.7ポイント改善)となった。

今期については、イベントの開催が復活となり夏休みの旅行など日常に戻った感があり前年同期と比較すると全業種改善となった。

また前期(令和5年4月~6月期)と比較すると、依然として原材料の上昇や人手不足等もあり、製造業7.0ポイント、小売業20.7ポイント、サービス業10.6ポイント悪化となった。

なお、来期(令和5年10月~12月期)の見通し(DI)は、今期と比較すると、製造業4.7ポイント改善・建設業3.4ポイント悪化、小売業6.9ポイント改善、サービス業は今期同様となる見通しとなる。改善の兆しではあるものの、10月から更なる値上げや最低賃金の増加加えてインボイス制度対応に伴う経費負担や人手不足の中での事務負担並びに税負担が中小企業を苦しめており、売上は回復となっても、採算や資金繰りなど中小企業は依然として厳しい状況にある。

業種別景気動向

【製造業】 有効回答数 43 企業

調査対象企業内訳：食料品(20)，飲料・飼料・たばこ(6)，一般機械器具(2)，家具・装備品(2)，木材・木製品(3)，プラスチック製品(1)，印刷・同関連(4)，金属製品(3) 窯業・土石製品(1)，その他(1)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
4年7月～9月期		▲16.3		▲45.4		▲11.4		▲34.1
4年10月～12月期		4.6		▲6.9		▲9.1		▲11.4
5年1月～3月期		▲6.8		▲25.0		▲9.3		▲7.0
5年4月～6月期		18.2		▲15.9		▲2.3		▲2.3
5年7月～9月期		13.9		▲7.0		0.0		▲9.3
来期見通し(10～12月期)		7.0		▲11.6		2.4		▲4.6

<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・原価高でなかなか利益の確保が厳しい状況。焼酎業界全体的な引き合いが落ち着いている感じがする。大手中心に原価高であるにもかかわらず、販売価格は低い。(蒸留酒・混成酒製造業)
- ・売上は増加しているが、仕入単価も増加しているため採算は変わらず。人手不足であり、生産量を増やすことが出来ないため今以上に売上数を伸ばすことは難しい。(清涼飲料製造業)
- ・コロナ禍中に減少した需要がなかなか戻らない中、10月からスタートするインボイス制度による税負担や事務負担の増加により、さらに業況が悪化すると感じている。(木製家具製造業)

経営上の問題点

第1位 原材料価格の上昇	57.5%	(前期比 +5.0)
第2位 製品ニーズの変化	7.5%	(前期比 +2.5)
第3位 需要の停滞	7.5%	(前期比 0)
第3位 従業員の確保難	7.5%	(前期比 -2.5)

【建設業】 有効回答数 30 企業

調査対象企業内訳：総合工事業(21)，職別工事業(5)，設備工事業(4)

	完成工事額		採算		資金繰り		業況	
4年7月～9月期		10.0		▲23.3		0.0		▲6.7
4年10月～12月期		6.6		▲16.7		▲10.0		▲3.3
5年1月～3月期		▲13.4		▲36.6		▲13.3		▲16.7
5年4月～6月期		10.0		▲13.4		6.6		6.7
5年7月～9月期		24.1		▲6.6		3.4		6.7
来期見通し(10～12月期)		3.5		▲3.3		6.9		3.3

<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・建設業界は短中期的需要は旺盛、長期的に縮小傾向。若年人口の減少と高齢化による担い手不足や、世界的な資源・エネルギー価格上昇の影響で、鋼材や石油製品、木材等の建設コストの増加、受注競争の激化などがある。(一般建築土木工事業)
- ・材料(特に生コンクリートや砕石)の値上がが著しい。まだ高騰している事が一般に認知されていない為、見積もりの段階で発注者に理解してもらおうのに随分苦労している。(造園工事業)

経営上の問題点

第1位 材料価格の上昇	50.0%	(前期比 +3.8)
第2位 従業員の確保難	21.4%	(前期比 -1.7)
第3位 官公需要の停滞	7.1%	(前期比 -0.6)

【小売業】 有効回答数 58 企業

調査対象企業内訳：飲食料品(25)，各種商品(2)，織物・衣服・身の回り品(6)，家具・建具(5)
自動車・自転車小売業(1)，その他(19)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
4年7月～9月期		▲22.1		▲33.9		▲20.3		▲33.9
4年10月～12月期		▲20.4		▲28.8		▲18.6		▲23.7
5年1月～3月期		▲11.9		▲33.9		▲18.6		▲25.9
5年4月～6月期		▲5.2		▲20.7		▲15.6		▲5.2
5年7月～9月期		▲12.0		▲39.7		▲20.7		▲25.9
来期見通し(10～12月期)		▲8.6		▲20.7		▲15.5		▲19.0

<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・ウィズコロナに向けて、マスク着用が緩くなり美容に対する意識がコロナ前のように高まってきている。
(化粧品小売業)
- ・コロナ融資の返済が始まり大変苦しい時に、円安、ウクライナ情勢による物価の高騰、仕入単価の上昇最賃の引上げ等により、経営環境がますます悪化している。
(各種食料品小売業)
- ・金利負担が大きくなっている上に人口減少により売上が減少している状況にある。
(新聞小売業)

経営上の問題点

第1位 仕入単価の上昇	42.0%	(前期比 +2.0)
第2位 販売単価の低下、上昇難	10.0%	(前期比 +6.0)
第3位 消費者ニーズの変化	10.0%	(前期比 +4.0)

【サービス業】 有効回答数 75 企業

調査対象企業内訳：洗濯・理美容業(19)，飲食店(24)，自動車整備業(10)，宿泊業(8)
運送業(2)，その他(12)

	売上額		採算		資金繰り		業況	
4年7月～9月期		▲15.6		▲31.2		▲24.7		▲23.4
4年10月～12月期		▲6.5		▲36.4		▲13.1		▲14.3
5年1月～3月期		▲16.9		▲37.7		▲20.8		▲24.7
5年4月～6月期		18.5		▲22.3		▲1.4		3.9
5年7月～9月期		10.6		▲12.0		▲13.4		▲6.7
来期見通し(10～月期)		12.0		▲14.7		▲9.3		▲6.7

<調査企業が感じている景気判断コメント>

- ・仕入値が増加しており、10月には最低賃金も上がるので不安である。
(その他の専門料理店)
- ・コロナ禍が明け初めての夏休みということもあり、多くの観光客でにぎわった。今年は特に団体のお客様の利用が多い。今季まではシーズンだが、これから先も続くのであろうか心配ではある。(簡易宿泊所)
- ・石油の値上りでハンガーや包装紙、灯油代等々が値上がりが続いています。
(普通洗濯業)

経営上の問題点

第1位 材料等仕入単価の上昇	45.6%	(前期比 -5.1)
第2位 従業員の確保難	8.8%	(前期比 +2.0)
第3位 利用者ニーズの変化	8.8%	(前期比 +0.6)

全産業【鹿児島県】

2023年7月期～9月期

	今期 (前年同期比)					来期 (対前年同期比来期見通し)				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上・完成工事・加工・収入額	205	34.1	38.5	27.3	6.8	205	26.3	51.2	22.4	3.9
売上(加工)単価・客単価	175	23.4	60.0	16.6	6.9	175	19.4	66.3	14.3	5.1
売上(加工)数量	43	30.2	46.5	23.3	7.0	43	23.3	62.8	14.0	9.3
客数	58	13.8	46.6	39.7	-25.9	58	15.5	51.7	32.8	-17.2
利用客数	75	32.0	44.0	24.0	8.0	75	25.3	52.0	22.7	2.7
資金繰り	204	7.4	75.0	17.6	-10.3	204	8.8	76.0	15.2	-6.4
輸出額	18	11.1	88.9	0.0	11.1	18	16.7	83.3	0.0	16.7
受注(新規契約工事)額	29	27.6	48.3	24.1	3.4	29	24.1	62.1	13.8	10.3
原材料・商品等仕入れ単価	206	85.0	14.6	0.5	84.5	206	73.8	24.8	1.5	72.3
原材料在庫数量	43	14.0	76.7	9.3	4.7	43	16.3	79.1	4.7	11.6
商品仕入数量	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
商品仕入額	58	55.2	24.1	20.7	34.5	58	34.5	48.3	17.2	17.2
商品・商品在庫数量	101	7.9	79.2	12.9	-5.0	101	8.9	80.2	10.9	-2.0
採算(経常利益)	206	11.7	58.7	29.6	-18.0	206	9.7	66.5	23.8	-14.1
従業員(含臨時・パート)	172	5.8	84.3	9.9	-4.1	172	4.7	70.9	4.7	0.0
外部人材(請負・派遣)	96	4.2	88.5	7.3	-3.1	96	4.2	90.6	5.2	-1.0
設備操業率	43	9.3	79.1	11.6	-2.3	43	7.0	79.1	14.0	-7.0
引合	71	14.1	71.8	14.1	0.0					0.0
受注・契約残	70	8.6	77.1	14.3	-5.7					0.0
業況(自社)	206	13.6	62.1	24.3	-10.7	206	12.6	66.5	20.9	-8.3

	今期 (前期比)					来期 (対当期比見通し)				
	企業数	↗	→	↘	D I	企業数	↗	→	↘	D I
売上・完成工事・加工・収入額	205	21.0	54.6	24.4	-3.4					
売上(加工)単価・客単価	175	13.7	73.7	12.6	1.1					
売上(加工)数量	43	18.6	65.1	16.3	2.3					
客数	58	10.3	58.6	31.0	-20.7					
利用客数	75	24.0	53.3	22.7	1.3					
資金繰り	204	7.4	78.4	14.2	-6.9					
業況(自社)	206	8.7	74.8	16.5	-7.8	206	11.2	70.9	18.0	-6.8
受取手形期間	47	2.1	97.9	0.0	2.1	47	2.1	97.9	0.0	2.1
長期資金借入難度	164	3.7	89.0	7.3	-3.7	164	4.9	89.0	6.1	-1.2
短期資金借入難度(含手形割引)	151	3.3	92.7	4.0	-0.7	151	4.0	90.7	5.3	-1.3
借入金利	167	4.2	94.0	1.8	2.4	167	4.8	92.8	2.4	2.4

	今期の水準				
	企業数	↗	→	↘	D I
業況(自社)	206	14.1	61.7	24.3	-10.2
生産に対する原材料在庫	43	2.3	88.4	9.3	-7.0
売上に対する製品在庫	101	7.9	88.1	4.0	4.0
採算(経常利益)	206	19.4	65.5	15.0	4.4
引き合	72	8.3	79.2	12.5	-4.2
生産設備	43	0.0	88.4	11.6	-11.6
従業員(含臨時・パート)	184	2.2	78.8	19.0	-16.8

上2表

- ↗ : 増加・上昇・好転・長期化・容易
- : 不変
- ↘ : 不足・低下・悪化・短期化・困難

左表

- ↗ : 良い・過剰・黒字・活発
- : ふつう・適正・収支トントン・ふつう
- ↘ : 悪い・不足・赤字・低調